

学 外 実 習 (Internship)		4 年・夏季・1 単位・選択 電気工学科・担当 小坂 洋明	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (4)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-2(80%), A-2(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-2d), (i), (b)	
〔教育方法等〕 概要： 本科目では、企業などでの実習を通じて、技術者の心構えや社会人としてのあるべき姿を学び、これまでに学習してきた専門知識がどのように応用されているのかを知り、今後の学習に役立てるとともに、自主性、創造性、協調性を学ぶ。 授業の進め方と授業内容・方法： 夏季休業期間中に 5 日間以上にわたり、合計 30 時間以上、実習に従事することとする。なお、実習先は学科が認めた実習先（民間企業、高専機構との連携がある研究・試験機関、行政機関）とし、実習内容は設計、生産技術、生産管理、品質管理、実験・実験助手、機能・性能・材料試験、販売、サービスなどの分野とする。 注意点： 関連科目 専門科目全般 学習指針 実習先の就業規則（含、守秘義務）に従うとともに、必要に応じて作業服等の準備を行うこと。交通手段としては電車・バス・自転車を利用し、災害傷害保険に加入するとともに、実習に関する報酬は受け取らないこと。 自己学習 実習先企業の業務内容や職種、実習に必要な知識などについて事前に学習に取り組むこと。また、積極的に技術者と交流し、得られた知識や経験を今後の学習に生かすよう努めること。			
〔教科書〕 なし 〔補助教材・参考書〕 実習先での就業規則、指導書、マニュアル等			
〔到達目標〕 1. 企業等におけるルールやマナーを遵守し、社会人・技術者としての心構えや意識を高めることができる。 2. 企業等における実際の生産活動などを通して、学校で学ぶ知識や技能との関連性について理解することができる。 3. 実習に係る業務日誌や報告書を適切に作成することができる。 4. 実習内容や成果などをスライドにまとめ、報告会において決められた時間内にわかりやすく発表し、適切な質疑応答を行うことができる。			
〔評価割合〕 実習先での学外実習修了証明書および業務日誌（50%）、学外実習報告書（25%）、および学内での報告会での発表（25%）の 4 点によって評価する（4 点全て満たすことを合格の条件とする）。			

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	1. 実施時期	夏季休業期間中 5 日間以上にわたり，合計 30 時間以上従事 設計，生産技術，生産管理，品質管理，実験および実験助手 機能・性能・材料試験などの分野 学科が認めた実習先 (民間企業，高専機構との連携がある研究機関，行政機関) 5 月 学外実習ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要説明 ・ 実習先企業の紹介と実習内容の説明 ・ 安全教育 ・ 希望調査と割り振り 6 月 事前研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外実習の心構えなどの事前学習 ・ 講演会出席（外部講師） 7 月～8 月 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先でのオリエンテーション ・ 実習 ・ 日誌および報告書の作成 9 月 学外実習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書等（学外実習修了証明書，業務日誌，学外実習報告書）の提出 ・ 学外実習の成果報告会 	
	2 週	2. 実施期間		
	3 週	3. 実習内容		
	4 週	4. 学外実習先		
	5 週	5. スケジュール		
	6 週			
	7 週			
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
	16 週			

* 4：完全に達成した， 3：ほぼ達成した， 2：やや達成できた， 1：ほとんど達成できなかった， 0：まったく達成できなかった